

## 第 18 回 電子情報化委員会 議事録 (案)

日 時：2005 年 7 月 15 日 (金) 17:30 ~ 20:30

場 所：JCI 会議室

出席者：野口委員長，中村幹事，金久保幹事，秋山，甲斐，田嶋，田所  
(事務局) 戸口，鳥居南

資 料：

18-0 電子情報化委員会 (第 18 回) 議事次第

18-1 第 17 回電子情報化委員会議事録 (案)

18-2 名古屋大会会場 WG 報告

18-3-1 メールニュースへの「コンクリート工学」誌の目次掲載のお願い  
研究委員会・専門委員会活動内容の標準ホームページへの掲載のお願い

18-3-2 メールニュース会告案・登録画面案

18-4 委員会 HP 流れ案

18-5 電子情報化委員会 HP コピー

18-6 JCI 活動の電子情報化 (コンクリート工学寄稿)

18-7-1 セメント新聞 7/11 コピー (100 年史編纂)

18-7-2 JCI パンフレット 2005

18-8 電子情報化委員会名簿

18-9-1 年次大会論文集・査読システムにかかる費用

18-9-2 CD-ROM 版論文集作成費用内訳

議 事：

### 1. 前回委員会議事録確認

資料 18-1 に基づき、前回議事録が確認された。また、前回議事に関連し、以下の議論があった。

- ・ コンクリート工学誌のコンテンツの電子化に関して、編集委員会とはまだ調整していない。作業の内容的には事務局での対応が大きなウエイトを占めるので、今後、事務局の方針を詰める必要がある。
- ・ 40 周年記念事業での電子化に関して、電子情報化委員会の関与はなかった。今回は時間があまりなかったため十分な議論ができなかった。今後、先を見据えた展開を考えていく必要がある (50 周年事業等)。例えば、コンクリート工学誌の電子化に関して、理事会に提案していく活動が必要になる。
- ・ 「4.(2) ホームページの改善」を「研究委員会ホームページの改善」とする。

### 2. 年次大会 (名古屋) について

資料 18-2 に基づき、名古屋大会会場 WG の報告があった。以下の議論が行われた。

- ・ 年次大会の運営に関する年々のノウハウをどのように後々につないでいくのか、考

える必要がある。運営に関するアーカイブを整備するのモ一案である。

- ・ 「ppt ファイルの削除」の記述を報告にするべきである。
- ・ CD-ROM 版論文集の題目、著者、キーワード、概要をホームページ上で検索できるように事務局で整備中である。論文本文に関しては未定。畑中先生のシステムをどのように扱っていくのか、今後議論する必要がある。

### 3．メールニュースについて

資料 18-3-1 に基づき、野口委員長から「コンクリート工学誌の目次掲載のお願い」に関する報告があった。また、9月号創刊を目指して、資料 18-3-2 に基づき、実際の作業フローの確認が行われた。

- ・ 目次掲載に関しては、編集委員会の了解を得た。
- ・ 8月に登録画面を立ち上げる。9月号のコンクリート工学誌に会告を掲載する。9月中旬の創刊を目標とする。
- ・ 事務局において、サーバー運営手続きおよびメール登録画面の整備を早急に行う。

### 4．研究委員会ホームページについて

資料 18-3-1 に基づき、野口委員長から「研究委員会ホームページへの掲載のお願い」に関する報告があった。また、資料 18-4 に基づき、ホームページ作成の流れについて説明があった。

- ・ 研究委員会の同意は得られた。現状では、個々の専門委員会の判断による。
- ・ ホームページ作成の手順に関して、電子情報化委員会、事務局、研究委員会の間で意志疎通が上手くできていない。現在の雛形を利用すれば、あとは事務局が持っているデータをアップするだけで最低限の形ができる。電子情報化委員会で、各研究専門委員会の標準ホームページを作成してアップする。
- ・ 白井委員会ですでに独自ホームページが作成されているので、これを利用して、まず作成しサンプルとして紹介する。
- ・ 必要アカウントは、事務局で早急に整備する。
- ・ 次回研究委員会（10月）にて、野口委員長が再度説明する。

### 5．電子情報化委員会ホームページについて

資料 18-5 に基づき、田嶋委員から電子情報化委員会のホームページを整備した旨の報告があった。今後、委員会資料等を参考にして、内容を拡充していく。

- ・ JCI ページの研究委員会からリンクを貼る。事務局でアカウントを準備する。
- ・ 公開用議事録を整備する。

### 6．その他

・ 資料 18-6 に基づき、電子情報化委員会の活動に関するコンクリート工学誌の寄稿文の紹介があった。

・資料 18-9 に基づき、年次大会システムにかかる費用の説明が事務局からあった。仙台大会実行委員会で、システムにかかる費用が印刷版時代より高くなっていることが問題視されている。電子情報化委員会で議論してきた、メリット、デメリット、コストに関して引続き議論し、説明責任を果たす必要がある。

・委員の分担を以下のように定めた。

田嶋：電子情報化委員会ホームページ運営担当

田所：メールニュース担当

秋山：研究委員会ホームページ担当

甲斐：コンクリート工学誌電子化担当

・委員補充を図る（東工大三木さん）。

・次回日程

9月8日（木）17:00～

以上  
（記録：金久保）